

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2020年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、製造業、非製造業とも悪化したため、全産業では▲44と前回調査から▲33ポイント悪化した。因みに、前回調査では悪化、水準は▲21を予測していた。

製造業・・・化学が改善したものの、輸送用機械が横ばいとなったほか、はん用・生産用・業務用機械、電気機械が悪化したため、全体では▲57と前回調査から▲51ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲28を予測していた。

非製造業・・・建設、電気・ガスが改善したものの、卸・小売、運輸・郵便、情報通信、対事業所サービス、宿泊・飲食・対個人サービスが悪化したため、全体では▲31と前回調査から▲14ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲14を予測していた。

先行き(2020年9月予測)は、製造業、非製造業とも改善するため、全産業では▲35と9ポイントの改善を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2019年度(実績)は、製造業は前年度比▲1.6%の減収、非製造業は同▲0.1%の減収となり、全産業では同▲0.9%の減収となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲0.3%)、非製造業(同0.1%)とも小幅な修正に止まり、全産業では▲0.1%とほぼ横ばいとなった。

2020年度(計画)は、製造業は前年度比▲2.9%の減収、非製造業は同▲3.5%の減収となり、全産業では同▲3.2%の減収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲7.0%)、非製造業(同▲1.9%)とも下方修正され、全産業では▲4.7%の下方修正となった。

(2) 経常利益

2019年度(実績)は、製造業は前年度比6.5%の増益、非製造業は同▲21.3%の減益となり、全産業では同▲2.8%の減益となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲5.5%)が下方修正されたものの、非製造業(同22.5%)が上方修正され、全産業では0.7%の上方修正となった。

2020年度(計画)は、製造業は前年度比▲60.9%、非製造業は同▲53.5%、全産業では同▲58.9%の大幅な減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲58.3%)、非製造業(同▲32.8%)とも大きく下方修正され、全産業では▲52.8%の大幅な下方修正となった。

3. 設備投資額(含む土地投資額)

2019年度(実績)は、製造業は前年度比▲27.1%、非製造業は同▲16.3%の減少となり、全産業では同▲22.6%の減少となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率9.1%)、非製造業(同1.7%)とも上方修正され、全産業では5.6%の上方修正となった。

2020年度(計画)は、製造業は前年度比11.2%、非製造業は同4.0%の増加となり、全産業では同8.0%の増加計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率2.1%)が上方修正されたものの、製造業(同▲9.1%)が下方修正され、全産業では▲4.6%の下方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・製造業が「過剰」超に転じ、非製造業が「不足」超幅を縮小したため、全産業では「過剰」超(11)に転じた。先行き(2020年9月予測)は、全産業で「不足」超(▲4)に復する予測。

新卒採用計画(全産業)・・・2020年度は、前回調査(2019年12月調査)から下方修正(修正率▲0.9%)されたものの、前年度を上回る計画(前年度比3.5%)。

2021年度は、前年度を下回る計画(同▲6.7%)。

以上